

第七十六回帝國議會
衆議院

留萌鐵道株式會社及新瀉臨港開發株式會社所屬
鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案外二件

委員會會議錄(速記)第三回

會議

昭和十六年一月三十一日(金曜日)午前十時
十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 星島 二郎君

理事太田 理一君 理事手代木隆吉君

理事釘本 衛雄君 理事鹽川 正藏君

江原 三郎君 小笠原八十美君

北原阿智之助君 工藤 鐵男君

津倉 龜作君 東條 貞君

春名 成章君 福田 悌夫君

松浦周太郎君 村上 元吉君

一月三十日大正九年法律第五十六號中改正
法律案(北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件)(政
府提出)ノ審查ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

鐵道大臣 小川郷太郎君

出席政府委員左ノ如シ

北海道廳長官 戸塚九一郎君

商工省鑛產局長 鈴木 英雄君

逓信省管船局長 尾關 將玄君

鐵道省監督局長 鈴木 清秀君

鐵道省運輸局長 大山 秀雄君

鐵道省建設局長 倉田 玄二君

鐵道省工務局長 阿曾沼 均君

鐵道省經理局長 平山 孝君

鐵道省需品局長 堀木 鐵三君

鐵道省工作局長 德永 晋作君

鐵道省電氣局長 魚住 朝治君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

留萌鐵道株式會社及新瀉臨港開發株式會
社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法
律案(政府提出)

田名部運輸軌道株式會社所屬軌道ノ經營
廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル
法律案(政府提出)

富士身延鐵道株式會社及白棚鐵道株式會
社所屬鐵道買收ニ關スル法律案(政府提
出)

大正九年法律第五十六號中改正法律案
(北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件)(政府提
出)

○星島委員長 ソレデハ前會ニ引續イテ會
議ヲ開キマス、本委員會ニ併託サレマシタ
大正九年法律第五十六號中改正法律案(北
海道拓殖鐵道補助ニ關スル件)デゴザイマス
ガ、此ノ說明ヲ先ツ承ツテ置キマシテ、サウシ
テ此ノ件ヲ後廻シニシマシテ、昨日來ノ質
疑ヲ續ケルコトニ致シタイト思ヒマスガ、
御異議アリマセヌカ

○星島委員長 ソレデハ左様計ラヒマス、
此ノ提案ノ說明ヲ戸塚北海道廳長官ニ願ヒ

マス

○戸塚政府委員 北海道ノ拓殖促進ノ爲メ
必要ト認ムル地方鐵道及ビ軌道ニ對シマシ
テ、大正九年法律第五十六號ニ依リ北海道
拓殖費ヨリ補助致シテ居リマスル會社數ハ
昭和十五年三月現在ニ於テ鐵道十社、軌道五
社アルノデアリマス、其ノ補助區間ノ總延長
ハ四百八十五「キロ」三分ニ達シ、是ガ建設費
總額ハ約三千三十一萬圓ニ及ンデ居リマス、
而シテ是等會社ニ對シマシテハ、其ノ營業
開始ノ日ヨリ二十年ヲ限り、每營業年度ニ
於ケル益金ガ建設費ニ對シ五分ノ割合ニ達
セザル時ハ、其ノ不足額ヲ補助スルノデア
リマスガ、全然益金ガナク、損失ヲ生ジタ
場合ニ於キマシテハ、補助金ハ建設費ノ年
六分ニ相當スル金額ヲ超エザルヲ限度トシ
テ助成シテ居リマス、政府ハ此ノ間銳意成
績ノ向上ト業態ノ改善トニ努力セシメ、補
助期間満了ノ際ニハ、自立經營ノ出來マス
ヤウニ致サシムベク督勵ヲ加ヘツツアリマ
スルガ、輒近ハ其ノ業績モ稍向上ヲ示スノ
機運ニ向ツテ參リマシタケレドモ、北海道
ニ於テ鐵道軌道ノ經營ヲ致シマスニハ、申
スマデモナク内地府縣ト事情ヲ異ニシテ居
リマシテ、自營困難ノモノ少シトセザル狀
態デアリマス、仍テ將來ニ鑑ミ、政府ハ拓
殖上必要アリト認ムルモノニ對シテハ補助

期間ヲ延長シ、尙ホ引續キ助成ヲナシテ、
運輸交通ノ完備ヲ期スル爲ニ此ノ法案ヲ提
出シタ次第デゴザイマス、宜シク御審議ヲ
願ヒマス

○星島委員長 質疑ノ順ハ東條君カラデア
リマスガ、東條君ノハ建設ノ根本ニ關スル
御尋ネノヤウデアリマシテ、只今小川鐵道
大臣ハ樞密院會議ニ御列席ノヤウデアリマ
スカラ、之ヲ後廻シト致シマシテ、鹽川君
カラ御始めヲ願ヒマス

○鹽川委員 私ハ主トシテ富士身延線ニ付
キマシテ、質問ヲ申上ゲタイト思ヒマス、
今回富士身延鐵道ヲ買收セラレル案ガ出マ
シタガ、是ハ此ノ提案ノ理由トシテ御示シ
ニナツテ居リマス如ク、本線ハ近來乘客並
ニ貨物が激増シ、今日ノ儘デハ到底其ノ圓
滿ナル運輸ヲナスコト云フコトハ不可能ノ狀
態ニアリマス、隨テ是ハドウシテモ政府ニ
於テ買收シ、之ニ對シテ根本的ノ改良ヲ加
ヘナケレバ、今日時代ノ要求スル生産擴
充ト云フコトハ到底充サレナイ、斯ウ云フ
風ニ考ヘルノデアリマス、只今ノ富士身延
鐵道省ガ借上ゲテ經營ヲ致シテ居ルノデア
リマスガ、乘客ガ非常ニ殖エマシテ、今ド
ノ列車デモ待ツテ居ル客ハ殆ド乗切レナイ、

付託議案

留萌鐵道株式會社及新瀉臨港開發
株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發
行ニ關スル法律案(政府提出)(第
四號)
田名部運輸軌道株式會社所屬軌道
ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債
發行ニ關スル法律案(政府提出)
(第五號)
富士身延鐵道株式會社及白棚鐵道
株式會社所屬鐵道買收ニ關スル法
律案(政府提出)(第六號)
大正九年法律第五十六號中改正法
律案(北海道拓殖鐵道補助ニ關ス
ル件)(政府提出)(第二號)

幾分ハ置イテ行クト云フヤウナ譯デ、地方民ト致シマシテハ實ニ不便此ノ上モナイ狀態デアリマス、之ニ付テハ恒久策ト致シマシテ、改良工事ヲ根本的ニスルコトガ必要デアリマセウガ、現狀ヲ救フ何カ一時的ノ便法デモ講ジタラドウカト云フ風ニモ考ヘ

強クスル、ソレカラ枕木ノ少イノヲ多クスルトカ、線路ノ砂利ヲ厚クスルトカ、或ハ又アノ線ハ今マデ手ヲ入レテナイ關係上、雨ガ降ルト非常ニ危險ナ所ガアルカラ、ソレヲ直ストカ、或ハ今申上ガマシタヤウニ、汽車ノ客車ヲ増結スルト長サガ足りナイ爲

考ヘテ居リマス

○鹽川委員 此ノ鐵道ハ鐵道自體ヲ經營シテ居リマスノハ勿論、尙ホ他ニ兼業ヲ致シテ居ルヤウデアリマスガ、ソレニ付キマシテハ、今度ハ此ノ買收ノ中ニハ入ツテ居ラナイノデアリマスガ

○鹽川委員 此ノ說明ノ七ニアリマスガ、他事業興業費ト云フヤウナモノガアツテ、之ニ金額モ上ツテ居リマスガ、是ハドウ云フ必要ガアツテ此處ニ御載セニナツタノデアリマスガ、別ニ是ハ今回ノ買收ニ關係ナイモノデアリマスレバ、載セル必要モナイヤウニ考ヘマスルシ、殊ニソレハ富士川橋梁興業費幾ラト云フ風ニ、金額マデモ載ツテ居リマスルガ、此ノ金額ハ何ヲ標準トシテ斯ウ云フ金額ガ出テ居ルノデアリマス

ルノデアリマス、或ハ客車ヲモット増結ガ出來レバ増結スルトカ、吾々ハ素人デアリマスカラ其ノ邊ノコトハ能ク分リマスガ、兎ニ角何カ交通緩和ノ一時的ノ方法デモアリマスレバ、是ハ非常ニ地方民ガ喜ブノデアリマスカラ、サウ云フコトニ對シテ何カ御計畫ガアリマスレバ伺ヒタイと思ヒマス

○鹽川委員 此ノ鐵道ノ買收價格ノ點ニ付テ御伺ヒシタイと思ヒマスガ、是ハ鐵道買收法ニ依リマシテ「買收ノ日ニ於ケル鐵道ノ建設費以內ニ於テ之ヲ協定ス」ト云フ風ニナツテ居リマスガ、此ノ建設費以內デ協定スルト云フコトニ付テデスガ、其ノ協定ト云フモノハ大體ドウ云フコトヲ標準トシテ協定ヲナサルノデアリマスガ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○鹽川委員 此ノ兼業事業ノ中ニハ、溫泉興業費ト云フモノガアツテ、溫泉ヲ經營シテ居ルト云フヤウナコトデアリマスガ、此ノ溫泉ハ非常ニ外傷ニ特效ガアル溫泉ダト云フコトガ昔カラ言ハレテ居リマスガ、斯ウ云フヤウナ溫泉ハ寧ろ鐵道省デ御買上ニナツテ、從業員ノ福利施設ト申シマスガ、保健施設ト申シマスガ、サウ云フ方ニ御利用ニナルコトガ非常ニ有益デハナイカト考ヘルノデアリマスガ、サウ云フコトニ付テ御考ヘニナツタコトガアリマスガ

○鹽川委員 此ノ溫泉ヲ省ノ療養施設ニ利用スルト云フコトモ一ツノ考ヘ方ダト思ヒマスガ、鹽川サン能ク御承知ノ通り、アノ溫泉ニハ相當特殊ノ御客ガ參ツテ居ラレル管デアリマシテ、ソレ以上ノ有效ナル利用ガ出來テ居ルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、又溫泉ヲ買ツテ經營スルト云フコトモ、省ノコトト致シマシテハ如何カト考ヘラレマスノデ、又一面此ノ溫泉ガ殘ツテ居リマシテモ十分利用セラレ得ルモノト考ヘテ、買フコトハ考ヘナカツタノデゴザイマス

○鹽川委員 尙ホ此ノ鐵道ハ、先程モ申シマシタ通り、鐵道省ガ借入ニナリマシテカラマダ日ガ淺イノデアリマス、隨テ從來ノ私設鐵道時代ノ從業員モ大分殘ツテ居ルヤウデアリマス、隨テ國鐵精神ト云フモノガ能ク從業員ニ徹底シテ居ラス點ガアリマシテ、一般乘客ニ迷惑ヲ及ボスコトガ少クナイノデアリマス、殊ニ近來ハ從來カラノ省線ノ從業員デサヘ色々問題ヲ惹起スルヤウデアリマス、隨テ是ハ國營移管ニナツテカラ日モ淺イ鐵道デアリマスカラ、從業員等ニ能ク國鐵精神ヲ徹底セシメルコトニ付テ十分ノ注意ヲ御願ヒ致シタイと思フノデアリマス、此ノ點ニ付テドウ云フ方法ヲ執ラレテ居リマスガ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイ

○阿曾沼政府委員 根本的ニ改良計畫ノアルコトハ昨日御答ヘシタノデゴザイマスガ、今鹽川サンカラモット澤山客車ヲ増結スルトカ、何カ一時的ノ方法ガナイカト云フ御尋ネデゴザイマス、客車ヲ増結致シマシテモ、驛ノ「ホーム」ノ長サガ足りナイトカ線路ノ長サガ足りナイトカサウ云フコトニ關シマシテハ買收後出來ルダケ手ヲ掛ケタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、其ノ外「レール」ノ小サイノヲ大キクシテ、モット速度ヲ上ゲルトカ云フヤウナコトモ考ヘテ居リマス

○大山(秀)政府委員 富士身延鐵道ハ約二年間政府デ借上ゲテ經營シテ居リマスノデ、地方鐵道法ニ言ツテ居リマスヤウニ、會社ノ成績ヲ見ルコトガ出來マセヌノデ、或ル推定ニ依ツテ地方鐵道法ヲ準用シテ、計算シ得ルヤウナ數字ヲ得ル外ナイノデアリマスガ、其ノ方法ト致シマシテハ先ヅ借入レ前ニ於ケル會社ノ實績ト云フモノガ一ツノ基本ニナリマス、ソレカラ其ノ借入レ後ニ於ケル全國ノ地方鐵道ノ内、同ジ軌間ヲ有スルモノ即チ三「フイット」六「インチ」ノ地方鐵道ヲ見マシテ、其ノ増收ノ割合、増益ノ様子ヲ見タノデアリマス、サウシテ過去三

○鹽川委員 此ノ鐵道ハ鐵道自體ヲ經營シテ居リマスノハ勿論、尙ホ他ニ兼業ヲ致シテ居ルヤウデアリマスガ、ソレニ付キマシテハ、今度ハ此ノ買收ノ中ニハ入ツテ居ラナイノデアリマスガ

○鹽川委員 此ノ說明ノ七ニアリマスガ、他事業興業費ト云フヤウナモノガアツテ、之ニ金額モ上ツテ居リマスガ、是ハドウ云フ必要ガアツテ此處ニ御載セニナツタノデアリマスガ、別ニ是ハ今回ノ買收ニ關係ナイモノデアリマスレバ、載セル必要モナイヤウニ考ヘマスルシ、殊ニソレハ富士川橋梁興業費幾ラト云フ風ニ、金額マデモ載ツテ居リマスルガ、此ノ金額ハ何ヲ標準トシテ斯ウ云フ金額ガ出テ居ルノデアリマス

○阿曾沼政府委員 根本的ニ改良計畫ノアルコトハ昨日御答ヘシタノデゴザイマスガ、今鹽川サンカラモット澤山客車ヲ増結スルトカ、何カ一時的ノ方法ガナイカト云フ御尋ネデゴザイマス、客車ヲ増結致シマシテモ、驛ノ「ホーム」ノ長サガ足りナイトカ線路ノ長サガ足りナイトカサウ云フコトニ關シマシテハ買收後出來ルダケ手ヲ掛ケタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、其ノ外「レール」ノ小サイノヲ大キクシテ、モット速度ヲ上ゲルトカ云フヤウナコトモ考ヘテ居リマス

○鹽川委員 此ノ鐵道ノ買收價格ノ點ニ付テ御伺ヒシタイと思ヒマスガ、是ハ鐵道買收法ニ依リマシテ「買收ノ日ニ於ケル鐵道ノ建設費以內ニ於テ之ヲ協定ス」ト云フ風ニナツテ居リマスガ、此ノ建設費以內デ協定スルト云フコトニ付テデスガ、其ノ協定ト云フモノハ大體ドウ云フコトヲ標準トシテ協定ヲナサルノデアリマスガ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○鹽川委員 此ノ兼業事業ノ中ニハ、溫泉興業費ト云フモノガアツテ、溫泉ヲ經營シテ居ルト云フヤウナコトデアリマスガ、此ノ溫泉ハ非常ニ外傷ニ特效ガアル溫泉ダト云フコトガ昔カラ言ハレテ居リマスガ、斯ウ云フヤウナ溫泉ハ寧ろ鐵道省デ御買上ニナツテ、從業員ノ福利施設ト申シマスガ、保健施設ト申シマスガ、サウ云フ方ニ御利用ニナルコトガ非常ニ有益デハナイカト考ヘルノデアリマスガ、サウ云フコトニ付テ御考ヘニナツタコトガアリマスガ

○鹽川委員 尙ホ此ノ鐵道ハ、先程モ申シマシタ通り、鐵道省ガ借入ニナリマシテカラマダ日ガ淺イノデアリマス、隨テ從來ノ私設鐵道時代ノ從業員モ大分殘ツテ居ルヤウデアリマス、隨テ國鐵精神ト云フモノガ能ク從業員ニ徹底シテ居ラス點ガアリマシテ、一般乘客ニ迷惑ヲ及ボスコトガ少クナイノデアリマス、殊ニ近來ハ從來カラノ省線ノ從業員デサヘ色々問題ヲ惹起スルヤウデアリマス、隨テ是ハ國營移管ニナツテカラ日モ淺イ鐵道デアリマスカラ、從業員等ニ能ク國鐵精神ヲ徹底セシメルコトニ付テ十分ノ注意ヲ御願ヒ致シタイと思フノデアリマス、此ノ點ニ付テドウ云フ方法ヲ執ラレテ居リマスガ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイ

○鹽川委員 只今ノ御說明デハ、「ホーム」ガ狹イカラ「ホーム」ヲ改良セネバナラスト云フヤウナコトデアレバ、結局只今ノ所デハ應急策ト云フモノハ見込ガナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘナケレバナラストノデアリマスガ、ソレナラバ明十六年度ニ於テ施行致シマス改良工事ト云フモノハドノ程度デアリマスカ、腹案ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○鹽川委員 此ノ鐵道ノ買收價格ノ點ニ付テ御伺ヒシタイと思ヒマスガ、是ハ鐵道買收法ニ依リマシテ「買收ノ日ニ於ケル鐵道ノ建設費以內ニ於テ之ヲ協定ス」ト云フ風ニナツテ居リマスガ、此ノ建設費以內デ協定スルト云フコトニ付テデスガ、其ノ協定ト云フモノハ大體ドウ云フコトヲ標準トシテ協定ヲナサルノデアリマスガ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○鹽川委員 此ノ兼業事業ノ中ニハ、溫泉興業費ト云フモノガアツテ、溫泉ヲ經營シテ居ルト云フヤウナコトデアリマスガ、此ノ溫泉ハ非常ニ外傷ニ特效ガアル溫泉ダト云フコトガ昔カラ言ハレテ居リマスガ、斯ウ云フヤウナ溫泉ハ寧ろ鐵道省デ御買上ニナツテ、從業員ノ福利施設ト申シマスガ、保健施設ト申シマスガ、サウ云フ方ニ御利用ニナルコトガ非常ニ有益デハナイカト考ヘルノデアリマスガ、サウ云フコトニ付テ御考ヘニナツタコトガアリマスガ

○鹽川委員 尙ホ此ノ鐵道ハ、先程モ申シマシタ通り、鐵道省ガ借入ニナリマシテカラマダ日ガ淺イノデアリマス、隨テ從來ノ私設鐵道時代ノ從業員モ大分殘ツテ居ルヤウデアリマス、隨テ國鐵精神ト云フモノガ能ク從業員ニ徹底シテ居ラス點ガアリマシテ、一般乘客ニ迷惑ヲ及ボスコトガ少クナイノデアリマス、殊ニ近來ハ從來カラノ省線ノ從業員デサヘ色々問題ヲ惹起スルヤウデアリマス、隨テ是ハ國營移管ニナツテカラ日モ淺イ鐵道デアリマスカラ、從業員等ニ能ク國鐵精神ヲ徹底セシメルコトニ付テ十分ノ注意ヲ御願ヒ致シタイと思フノデアリマス、此ノ點ニ付テドウ云フ方法ヲ執ラレテ居リマスガ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイ

○阿曾沼政府委員 今申上ゲタ小サイ「レール」ヲ大キクスル、又橋桁ノ小サイノヲ

○鹽川委員 此ノ鐵道ノ買收價格ノ點ニ付テ御伺ヒシタイと思ヒマスガ、是ハ鐵道買收法ニ依リマシテ「買收ノ日ニ於ケル鐵道ノ建設費以內ニ於テ之ヲ協定ス」ト云フ風ニナツテ居リマスガ、此ノ建設費以內デ協定スルト云フコトニ付テデスガ、其ノ協定ト云フモノハ大體ドウ云フコトヲ標準トシテ協定ヲナサルノデアリマスガ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○鹽川委員 此ノ兼業事業ノ中ニハ、溫泉興業費ト云フモノガアツテ、溫泉ヲ經營シテ居ルト云フヤウナコトデアリマスガ、此ノ溫泉ハ非常ニ外傷ニ特效ガアル溫泉ダト云フコトガ昔カラ言ハレテ居リマスガ、斯ウ云フヤウナ溫泉ハ寧ろ鐵道省デ御買上ニナツテ、從業員ノ福利施設ト申シマスガ、保健施設ト申シマスガ、サウ云フ方ニ御利用ニナルコトガ非常ニ有益デハナイカト考ヘルノデアリマスガ、サウ云フコトニ付テ御考ヘニナツタコトガアリマスガ

○鹽川委員 尙ホ此ノ鐵道ハ、先程モ申シマシタ通り、鐵道省ガ借入ニナリマシテカラマダ日ガ淺イノデアリマス、隨テ從來ノ私設鐵道時代ノ從業員モ大分殘ツテ居ルヤウデアリマス、隨テ國鐵精神ト云フモノガ能ク從業員ニ徹底シテ居ラス點ガアリマシテ、一般乘客ニ迷惑ヲ及ボスコトガ少クナイノデアリマス、殊ニ近來ハ從來カラノ省線ノ從業員デサヘ色々問題ヲ惹起スルヤウデアリマス、隨テ是ハ國營移管ニナツテカラ日モ淺イ鐵道デアリマスカラ、從業員等ニ能ク國鐵精神ヲ徹底セシメルコトニ付テ十分ノ注意ヲ御願ヒ致シタイと思フノデアリマス、此ノ點ニ付テドウ云フ方法ヲ執ラレテ居リマスガ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイ

○阿曾沼政府委員 今申上ゲタ小サイ「レール」ヲ大キクスル、又橋桁ノ小サイノヲ

○鹽川委員 此ノ鐵道ノ買收價格ノ點ニ付テ御伺ヒシタイと思ヒマスガ、是ハ鐵道買收法ニ依リマシテ「買收ノ日ニ於ケル鐵道ノ建設費以內ニ於テ之ヲ協定ス」ト云フ風ニナツテ居リマスガ、此ノ建設費以內デ協定スルト云フコトニ付テデスガ、其ノ協定ト云フモノハ大體ドウ云フコトヲ標準トシテ協定ヲナサルノデアリマスガ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○鹽川委員 此ノ兼業事業ノ中ニハ、溫泉興業費ト云フモノガアツテ、溫泉ヲ經營シテ居ルト云フヤウナコトデアリマスガ、此ノ溫泉ハ非常ニ外傷ニ特效ガアル溫泉ダト云フコトガ昔カラ言ハレテ居リマスガ、斯ウ云フヤウナ溫泉ハ寧ろ鐵道省デ御買上ニナツテ、從業員ノ福利施設ト申シマスガ、保健施設ト申シマスガ、サウ云フ方ニ御利用ニナルコトガ非常ニ有益デハナイカト考ヘルノデアリマスガ、サウ云フコトニ付テ御考ヘニナツタコトガアリマスガ

○鹽川委員 尙ホ此ノ鐵道ハ、先程モ申シマシタ通り、鐵道省ガ借入ニナリマシテカラマダ日ガ淺イノデアリマス、隨テ從來ノ私設鐵道時代ノ從業員モ大分殘ツテ居ルヤウデアリマス、隨テ國鐵精神ト云フモノガ能ク從業員ニ徹底シテ居ラス點ガアリマシテ、一般乘客ニ迷惑ヲ及ボスコトガ少クナイノデアリマス、殊ニ近來ハ從來カラノ省線ノ從業員デサヘ色々問題ヲ惹起スルヤウデアリマス、隨テ是ハ國營移管ニナツテカラ日モ淺イ鐵道デアリマスカラ、從業員等ニ能ク國鐵精神ヲ徹底セシメルコトニ付テ十分ノ注意ヲ御願ヒ致シタイと思フノデアリマス、此ノ點ニ付テドウ云フ方法ヲ執ラレテ居リマスガ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイ

○阿曾沼政府委員 今申上ゲタ小サイ「レール」ヲ大キクスル、又橋桁ノ小サイノヲ

○鹽川委員 此ノ鐵道ノ買收價格ノ點ニ付テ御伺ヒシタイと思ヒマスガ、是ハ鐵道買收法ニ依リマシテ「買收ノ日ニ於ケル鐵道ノ建設費以內ニ於テ之ヲ協定ス」ト云フ風ニナツテ居リマスガ、此ノ建設費以內デ協定スルト云フコトニ付テデスガ、其ノ協定ト云フモノハ大體ドウ云フコトヲ標準トシテ協定ヲナサルノデアリマスガ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○鹽川委員 此ノ兼業事業ノ中ニハ、溫泉興業費ト云フモノガアツテ、溫泉ヲ經營シテ居ルト云フヤウナコトデアリマスガ、此ノ溫泉ハ非常ニ外傷ニ特效ガアル溫泉ダト云フコトガ昔カラ言ハレテ居リマスガ、斯ウ云フヤウナ溫泉ハ寧ろ鐵道省デ御買上ニナツテ、從業員ノ福利施設ト申シマスガ、保健施設ト申シマスガ、サウ云フ方ニ御利用ニナルコトガ非常ニ有益デハナイカト考ヘルノデアリマスガ、サウ云フコトニ付テ御考ヘニナツタコトガアリマスガ

○鹽川委員 尙ホ此ノ鐵道ハ、先程モ申シマシタ通り、鐵道省ガ借入ニナリマシテカラマダ日ガ淺イノデアリマス、隨テ從來ノ私設鐵道時代ノ從業員モ大分殘ツテ居ルヤウデアリマス、隨テ國鐵精神ト云フモノガ能ク從業員ニ徹底シテ居ラス點ガアリマシテ、一般乘客ニ迷惑ヲ及ボスコトガ少クナイノデアリマス、殊ニ近來ハ從來カラノ省線ノ從業員デサヘ色々問題ヲ惹起スルヤウデアリマス、隨テ是ハ國營移管ニナツテカラ日モ淺イ鐵道デアリマスカラ、從業員等ニ能ク國鐵精神ヲ徹底セシメルコトニ付テ十分ノ注意ヲ御願ヒ致シタイと思フノデアリマス、此ノ點ニ付テドウ云フ方法ヲ執ラレテ居リマスガ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイ

ノデアリマス

○長崎政府委員 鹽川サンノ只今ノ御説洵

ニ御尤モ思フノデアリマス、借入鐵道デアリマスノデ、獨リ運輸ノ方面バカリデナク、監督トカ其ノ他申サレタヤウナ方面ニ付テ、多少幹線ヨリ輕ク見テ居ルト云フヤウナ傾キガナカツタデハナイカト思フノデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテモ借入デハ仕事ガヤリニクイノデアリマシテ、ヤハリ自分ノモノニシナナケレバナラスト云フコトガ、今度ノ買収ニ付テ吾々運輸關係カラ申シマシテモ、非常ニ緊切ニ其ノ必要ヲ感ジタ次第デアリマス、ソレニ付テドウ云フコトヲ考ヘテ居ルカト申シマスレバ、只今御指摘ガアリマシタヤウニ、在來ノ國有鐵道デアリマシテモ、昨日來御話ガアリマシタヤウニ、近來新シク未熟練ノ從業員ガ非常ニ殖エタノデアリマス、其ノ原因ニ付テハ色々アリマスガ、仕事ノ分量ガ非常ニ殖エテ參リマシテ人手が足りナイ、ソレデ新シイ者ヲ入レタ、或ハ大陸方面ニ鐵道ノ從業員ガ相當出テ行カナケレバナラナイヤウナ事情モアツタ、殊ニ近來ハ各方面トモ勞力ガ不足シテ居リマスカラ、ヤハリ從來ノヤウニ優秀ナ人間ヲ採レナイ、多少格下ゲヲシテモ人ヲ採ラナケレバナラナイト云フヤウナ狀況ニアルト云フコトデ、段々素質ガ低下シテ來タコトハ是ハ御指摘ノ通りデアリマス、之ニ對シマテハ、今年度ノ豫算ニモ増額ヲ要求シテアルノデアリカト思ヒマスガ、鐵道省ニハ從來敎習所ト云フモノガアリマスガ、此ノ敎習施設ヲ強化シテ、或ハ敎習所ニ入ラナクトモ短期ノ講習ヲヤルト云フヤウナコトデ、相當ノ仕事ヲシナガラ片手間ニサウ云フ講習ヲ致シマスカラ、

其ノ片手間デハイケナイノデ、ソレデハ本

業ノ方ガ疎ニナリマスカラ、ヤハリ豫備員ヲ増員シテ相當數ノ豫備員ヲ以テ、ソレヲ交替ニ廻シテ短期ノ講習ヲヤツテ行クヤウナ方法ヲ取ツテ居ルノデアリマス、其ノ方法ヲ是カラモ大イニ強化シテヤツテ行キタイ、或ハ又一面ニ於テハ、近來民間等ニ於テモ大イニ熱心ニヤツテ居ラレル報國會ト云フヤウナ組織ヲ、鐵道省トシテサウ云フモノハ從來デモアリマスガ、是カラモ其ノ組織ヲ改編シ、ソレヲ擴充シ強化シテ行クヤウナコトヲ各種ノ方面デヤツテ行キタイ、又ソレ等ノモノハ大體ニ於テ敎育デアリマス、指導デアリマス、所謂精神ノ方面、或ハ仕事ノヤリ方ト云フヤウナ技術ノ方面ノコトデアリマスガ、他面ニ於テハドウシテモ少クトモ世間並ニナルヤウナ待遇ノ方法、待遇ノ方法ト申シマシテモ役所ノコトデアリマスカラ、色々ノ關係ガアリ振合ヒガアリマシテ、格段ノコトハ致シマセヌガ、出來ルダケサウ云フ待遇方面ノコトモ考ヘテ行カナケレバ、ドウシテモ餘所ノ仕事ニ逃ゲテ行クト云フコトガアリマスノデ、サウ云フ方面ニモ僅カナガラデアリマスガ留意シテ、サウシテ成ベク永ク足留ラシテ、勤務ニ慣レサセテ行クト云フ各種ノ方法ヲ執ツテ居ル次第デアリマス、只今ノ所格別富士身延ダケニ付テ、ドウト云フコトハ考ヘテ居リマセヌガ、全般的ノ問題トシテサウ云フコトヲ強化ヲシテ參リタイト考ヘテ居リマス

○鹽川委員 此ノ買収ニ關スル法律案第ニ條ニ「買収期日ハ政府之ヲ指定ス」斯ウ云フ風ニ決メラレテ居リマスガ、此ノ買収期日ト云フノハ何時デアルカ、御腹案ヲ承リ

タイト思ヒマス

○大山(秀)政府委員 富士身延ハ借入經營

中ノモノデアリマスカラ、幸ヒニ御協賛ヲ得マシタナラバ、成ベク早イ所デ買収致シタイト考ヘテ居リマス

○鹽川委員 期日ハ四月一日トカ五月一日トカ云フ風ニ……

○大山(秀)政府委員 何月何日ト云フヤウナコトヲハツキリ決メテ居リマセヌガ、成ベク早イ所デ一ツヤリタイト思ヒマス

○鹽川委員 私ハ是デ宜シウゴザイマス

○星島委員長 ソレデハ次ハ北原君

○北原委員 私ハ政府ガ地方鐵道ヲ御買収ニナリマスル時ニ、基準ヲドンナ風ニシテ御買収ガ行ハルノデアリマスカト云フコトト、現ニ富士身延鐵道ノ如キハ二、三年前ニ借入經營ヲ行ハレテ、今日買収ガ出來ルコトト思ヒマスガ、サウスルト借入ヲ先ヅ以テ先ニシテ、ソレカラ後ニ買収スルト云フヤウナ基準デオヤリニナルカドウカト云フコトヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマス、富士身延ノ外ニハ此ノ隣接地ニ四ツノ鐵道ガアリマシテ、是ハ昨日モ春名君カラ御質疑ガアリマシテ、小川鐵相ノ御答辯ヲ拜聽シタノデアリマスガ、此ノ鐵道ハ御承知ノ如ク伊那電氣鐵道、三信鐵道、豐川鐵道、鳳來寺鐵道ト四ツカラ成立ツテ居ルノデアリマス、是等ハ春名君ノ御質疑モアリマシタケレドモ、モウ一應之ニ付テ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、富士身延鐵道ノ説明書ノ終ヒノ方ニ「借入經營ノ下ニ於テハ到底之ガ圓滑ナル輸送ヲ爲シ得ザル實情ニ在リ、仍テ之ヲ買収シ輸送力ヲ強化シ以テ生産力ノ擴充ニ資セントス」ト斯ウ書イデアリマス、斯ウ云フ風ナ意味カラ申シ

マシテモ輸送力ノ強化、生産力ノ擴充等ハ

最モ此ノ線ニ必要ナ條項ト思フノデアリマス、是等ヲ詳シク申上ゲテ見マス、長野縣ノ大町カラ越後ノ糸魚川ニ達スル鐵道ガ出來マス、是ハ省線ヲ中ヘ圍ンデ長野、豐橋若クハ濱松ニ至ル鐵道ガ出來レバ、裏日本ト表日本トガ此ノ鐵道線路ニ依ツテ繋ガレテ行クノデアリマシテ、輸送力モ強化サレレデアラウシ、國防上モ之ニ依ツテ非常ナ助ケヲ得ルコトニナルト思フノデアリマス、ソレカラ生産力ノ擴充ヲ若シ取ツテ第一ト致シマスレバ、此ノ線ノ乘車賃及ビ貨物ノ運賃等ハ中々高イノデアリマシテ、普通ノ省線ニ比ベルト、乘車賃ハ殆ド二倍貨物ノ運賃ハ三倍ニモ當ル位ノ高率ヲ負擔フ地方民ガシテ居ル譯デアリマシテ、之ヲ兩方合ハセルト一寸百五十萬圓位一年ニ省線トノ相違ガ立ツノデアリマス、是ハ生産力擴充ニ付テハ甚ダ宜シカラザルコトデアルト考ヘルノデアリマス、第三ニハ地方物資ノ開發デアリマス、此ノ線ノ東側ニハ赤石系ノ山岳ガアリマシテ、是ハ固ヨリ御料林ノ所有ニ屬スルモノデアリマスガ、聞ク所ニ依ルト御料林ニ於テハ、此ノ森林ヲ今年カラ初メ伐採致シマシテ、サウシテアトノ經營ヲ十分ニヤツテ行カウト云フノデアリマスカラ、此ノ森林ノ事業ヲ完遂シテ行クニハ、ドウシテモ此ノ線ガ買収サレルノガ宜イ、サウシテ運賃等ガ他ト同ジコトニナツテ行カナケレバ、此ノ事業ガ旨ク經營サレヌト思フノデアリマス、是ハ開發ノ上ニモ必要ナコトト思フノデアリマス、ソレカラ時局ノ問題ニ付キマシテ、此ノ中ノ辰野カラ下伊那ノ滿島ト云フ邊マデノ間ガ下伊那ノ分デアリマス、御承知ノ如ク長野

縣ハ濠地デアリマシテ、餘リニ今マデハ
蠶ヲ飼ヒ過ギテ、ソレガ爲ニ畑ヤ田ヲ潰シ
テ桑ヲ作ルト云フ有様デアリマシタカラ、
此ノ時局ノ問題ニ對シテハ、農林省デモ
之ヲ考ヘテ一ツノ會社ヲ作り、ソレニ依ッ
テ事ヲ行ツテ行クヤウナ考ヘテ持ツテ居ラレ
ルヤウデアリマスカラ、サウナルト下伊那、上
伊那ノ水田ト云フモノハ、餘程潰サレテ居ル
ノヲ、再ビ元ノ水田ニ還ラセテ行カナケレ
バナラヌヤウニナルノデアリマス、之ヲシマ
スニハドウシテモ、運賃ガ低廉ニナリマシ
テ、肥料ガ普ク配給サレテ、安ク購求出來
ルト云フコトニナラナケレバ、今專ラ申ス
所ノ食糧ノ増産ト云フコトニハ當ラナイト思
フノデアリマス、是等ヲ考ヘマシテ、ドウ
シテモ此ノ鐵道ハ先ヅ以テ早く國家ニ買收
サレルトガ、一番地方民ノ望ム所デ、又
必要ナ所デアルト考ヘルノデアリマス、之
ニ付テ昨日春名君ノ御質問ニ付テ御答辯ガ
アリマシタガ、買收スルノ御考ヘハドノ邊
ニアルノデアリマスカ、又先程申シタ借入
經營ヲシテ、サウシテ後ニ買收スルト云フ
御考ヘデアルノカ、其ノ點ヲ承リタイト思
ヒマス

○大山(秀)政府委員 買收ハドウ云フ基準
ニ依ツテ考ヘテ居ルノデアルカト云フコト
ヲ、先ツ御尋ネニナツタヤウニ思フノデア
リマスガ、昨日大臣カラモ御答ヘ申上デマ
シタヤウニ、國有鐵道ノ建設工事が進ミマ
シテ、ソレガ會社線ト連繫ヲ持ツヤウニナ
リ、建設工事に必要カラ買收スル場合ガ
アルノデアリマス、又運輸ノ系絡上、之ヲ
買ツタ方ガ宜シイト云フ場合ガアルノデア
リマス、又軍事ノ關係、産業上ノ關係等カラ、
買收ヲ必要トスルモノガアルノデアリマス、

是ガ從來買收ノ基準トシテ考ヘラレテ居ル
モノデアリマシテ、今回ノ買收モ産業上ノ
必要ノ中カラ、特ニ此ノ時局ニ鑑ミマシテ、
生産力擴充ト云フ點ヲ強ク考ヘタ譯デアリ
マス、更ニ借入ヲ買收ノ前提トスルカト云
フ御尋ネデアツタノデアリマスガ、是ハ買收
ノ前提ト致シマシテ、借入ヲ買收ト云フコ
トハ考ヘテ居リマセヌ、借入ト買收ト云フモ
ノハ、前後ノ繋ガリニナルモノデアリマ
セヌ、唯今回出テ居リマスニ鐵道ニ付キマ
シテハ、サウ云フ姿ガ現ハレテ居リマスル
ガ、是ハ一般的ノ標準デハナイノデアリマ
ス、ソレカラ伊那、三信、鳳來寺、豐川ノ
四鐵道ニ付キマシテノ御話ガアツタノデア
リマスガ、是亦昨日大臣ヨリ御答ヘ申上デ
タト同ジナノデアリマシテ、此ノ四ツノ鐵
道ガ一緒ニナリマシテ、運輸系絡上相當ノ
重要ナ働キヲナシテ居ルト云フコトハ、私
共モ能ク承知致シテ居ルノデアリマス、隨
テ若シ是ガ買收セラレマスナラバ、輸送力
ノ擴充ノ上ニモ、運賃低下等ノ爲ノ生産力
擴充ノ上ニモ、又御話ニナリマシタヤウナ御
料林ノ物資開發ノ爲ニモ、又農業其ノ他ノ
爲ニモ非常ニ寄與スル所ガ多カラウト云フ
コトモ、御說ノ通りデアリマス、併シ何分
四ツノ鐵道デアリマスシ、其ノ延長ヲ合計
致シマスト相當長イモノデアリマス、建設
費モ相當ノ額ニ上ツテ居リマス、一面國家
ノ全體ト致シマシテハ、公債ノコトモ考ヘ
ナケレバナラヌノデアリマシテ、吾々ト致
シマシテハ、此ノ四鐵道ノ運輸上ニ於ケル
重要性ハ十分認識致シマシテ、將來公債政
策其ノ他トモ配合ハセマシテ考究致シタイ
ト考ヘテ居ルノデアリマス

○星島委員長 北原君簡單デスカ、長ケレ

バ東條君ガ留保サレテ居リマスカラ其ノ方
ヲ先ニシマスガ、簡單ナラバ續ケテ……
○北原委員 簡單デス——モウ一ツ承リタ
イコトハ、鐵道會議ニ於テ私設鐵道ヲ買收
スル案ガアリマシタ時ニ、只今申上デタ三
信鐵道モ其ノ中ニ入ツテ居ツタノヲ、青木
議員デアルトカ、植原議員等ハ、ソレハ大
イニ其ノ意ヲ得ザルモノデアルカラ、政府
ハ宜シク之ヲ延バサヌ方ニ入レテ、買收ス
ル方ヘ入レテ考ヘロト云フ說ガ出テ、サウ
云フ御調ベヲ付ケル譯デアルト承ツタノデ
アリマス、其ノコトハドウナツテ居リマス
カ、ソレヲ一言承リタイト思ヒマス

○鈴木(清)政府委員 鐵道會議ノ御話ガゴ
ザイマシタガ、地方鐵道ヲ買收致シマスル
際ニハ、鐵道會議ニ諮詢致スコトニ官制上
ナツテ居リマスノデ、此ノ四ツノ鐵道ヲ買
收致シマスニ付キマシテ、此ノ四ツニ對シ
テノ諮詢ヲ鐵道會議ニ致シタノデアリマス、
隨テ今申サレマシタ他ノ伊那カラ豐川ニ至
リマスル所ノ四鐵道ノ買收ニ對スル所ノ諮
詢ノ案件ト云フモノハ、鐵道會議ニ諮詢サ
レテ居ラナイノデアリマス、唯此ノ四鐵道
ガ鐵道會議ノ諮詢ニ上ツタ際ニ於キマシテ、
此ノ四鐵道ト劣ラナイ、或ハソレト同ジヤウ
ナ重要サヲ持ツテ居ルト云フ意見ノ下ニ、
青木鐵道會議ノ議員並ニ植原鐵道會議ノ議
員ガ、此ノ四鐵道ニ對スル政府ノ所見ト云フ
モノニ付テ質問ガゴザイマシタ、隨テ其ノ質
問ニ對シマシテハ今大山政府委員ノ申サレマ
シタ通りニ、其ノ重要サニ於テハ吾々モ認
メルノデアルガ、一般ノ他ノ公債及ビ其ノ
必要性ト云フヤウナ種々ノモノヲ考究シテ、
十分將來ニ於テ考究シヨウ、斯ウ云フ御答
辯ヲ申上デテアルノデアリマス、隨ヒマシ

テ今御尋ネノ如ク、此ノ伊那及ビ鳳來寺
ノ此ノ四鐵道ガ鐵道會議ニ諮詢セラレタモ
ノデモアリマセヌコトハ固ヨリ、又鐵道會
議後考究シテ、今議會ニ其ノ買收案ヲ提出
スルガ如キ言葉ヲ政府ハ申上デタコトハ全
然ナイノデアリマス、唯先程申シマシタ如
クオニ方ノ意見モゴザイマシテ、鐵道當局
モ此ノ四鐵道ガ交通連絡上其ノ重要サハ認
メルガ、尤モ斯ウ云フ種類ノ鐵道ハ他ニモ
アリマスガ、サウ云フコトニ付キマシテハ、
公債等ト配合ハセ、又其ノ時ノ必要性ト云
フモノヲ十分考慮シテ、サウシテ將來ノ問
題トシテ考究シヨウト云フコトヲ申上デタ
ノデアリマス

○北原委員 私ノ質問ハ是デ宜シウゴザイ
マス
○星島委員長 ソレデハ東條君、商工省ノ
鐵道局長ガ見エマシタカラ、此ノ機會……
○東條委員 鐵道ニ關スル限りハ大臣ヨリ
モ寧ロ事務當局ノ御意見ヲ伺ツタ方ガ適當
ト考ヘルノデアリマスガ、國務大臣トシテ
御考慮ヲ願ヒタイ點ガアリマスルノデ、後
大臣ガ見エマシタ時ニ簡單ニ御伺ヒマス
ルコトヲ御許シテ願ヒタイト思ヒマスノデ、
最初ニ其ノ點ヲ申上デテ置キマス
新線ノ建設ニ關シマスルコトニ付デア
リマスガ、是ハ物資ガ非常ニ不足ヲ致シテ
居リマスルノデ、豫定ノ御計畫ノ通りニ建
設ヲ進メルコトガ出來ヌ、ソコデ或ハ繰延
ヲシ、或ハ打切ラスルト云フヤウナ情勢ニ
ナツテ居リマスガ、是ハ何トモ已ムヲ得ナ
イノデアリマス、併シ現在ノ狀態カラ致シ
マスルト、此ノ新線ノ建設ニ付キマシテハ
軍事上ノ必要、或ハ生産擴充、此ノ二ツノ
點ニ重點主義デアラネバナラヌコトハ勿論

デアリマス、隨テ今マデノ計畫通りノ路線ノ建設ガ出來ナイ、ソコデ物資ノ許ス限リニ於テ、此ノ點ニ止メルヨリ仕方ガナイト云フヤウナ消極的ナ考ヘ方デナク、寧ロ積極的ニ石炭或ハ鐵ノ如キ、其ノ他時局柄最モ重要ナル物資ノ生産ヲ致シマスル爲ニ、積極的ニ建設計畫ト云フモノガ立テラレネバナラスト考ヘルノデアリマスルガ、此ノ點ニ付テドウ云フヤウナ風ニヤツテ居ラレマスルカ、此ノ點ヲ先ツ最初ニ伺ヒタイ

○鈴木(逋)政府委員 建設線ノ十六年度以降ノ方針ニ付キマシテ只今御尋ネガアツタノデゴザイマスルガ、御存ジノ如ク十六年度ニ於キマシテハ、殊ニ資材ガ非常ニ拂底シテ居リマス、特段ニ拂底シテ居リマスノハ鋼材デゴザイマスノデ、サウ云フ關係上カラ改良及ビ建設兩方ヲ睨合ハシマシテ、此ノ少イ物資ヲ出來ルダケ有效ニ、最モ近ク效果ノ上ル方法デ使ハナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、又一方既設線ニ於キマシテモ、生産力擴充ノ結果豫想セラレテ參リマスル所ノ數量ト云フモノガ可ナリ夥シイ數量ニ上リマシテ、昨日モ大臣ガ申サレマシタ如ク、殆ド本年度ハ事變前ノ二倍位ノ輸送量ニ上ツテ居ル、然ルニ其ノ設備ハ二割位或ハ二割以下ノ程度シカ行ツテ居ラナイ、斯ウ云フヤウナ狀態ニ於キマシテハ、假令建設線デ新線ガ敷設セラレマシテモ、ソレガ既設線ニ運搬セラレタ後ニ於キマスル所ノ運搬、竝ニ建設線ヘ入リマスル所ノ車輛其ノモノガ、既ニ非常ニ困難ニナツテ來ルヤウナ始末ナノデアリマス、隨テ此ノ現在線ノ改良、建設線ノ新設、兩方トモ其ノ必要性ヲ睨ミマシテ、而モ出來得ル限リ效力ノ發スル方法デヤラナケレバナ

ラナイト考ヘタノデアリマス、サウ致シマシタ結果、各建設線ト云フモノガ何レモ多少一年乃至六年ノ間ノ繰延ヲシテ行カナケレバナラスヤウナ狀態ニナリマシタコトハ、交通ノ開發ヲ使命ト致シマスル鐵道當局ト致シマシテハ、洵ニ遺憾ト存ジテ居リマスルガ、又現在ノ事情已ムヲ得ナイモノダト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ假令建設線ニ於キマシテ、其ノ生産力擴充上、而モ緊密ニ現在要シマスル所ノ物資ヲ急速ニ出シタイト思ヒマスル建設線ニ對シマシテハ、新規工事ト云フヤウナモノヲ致シテ居ルノデアリマシテ、是ハ昨日申上ゲマシタ「クローム」鐵鋼ヲ元トシテ居リマスル所ノ邊富内線デアルトカ、或ハ製鐵上ニ關係アリマスル所ノ小本線ノ如ク、或ハ北陸ノ輸送力強化上早クシナケレバナラナイ所ノ白新線ノ如キ、サウ云フヤウナモノガアリマスルガ、サウ云フモノニ對シマシテハ、建設線ノ中デモ急速ニ十六年度カラ完成ト言ヒマスルカ、必要ナル區間ニ於ケル所ノ開通ヲ致シタイト思ツテ居リマス、サウ云フヤウニシテ生産力擴充ト云フ點ニ於キマシテモ、吾々ハ考慮シテ居リマスノデ、之ヲ工事全般ニ於テ、生産力トドウ云フ關係ガアルカト云フコトヲ申シマス、例ヘバ石炭ノ如キニ付キマシテ言ヒマス羽幌線デアリマスルトカ、或ハ伊佐線ノ建設ト云フヤウナモノハ石炭増産ノ爲ニ急イデ居リマス、又此ノ石炭ニ對スル鐵道ノ改良計畫ト致シマシテハ、筑豊線ノ線ノ増設デアリマス、或ハ若松直方、或ハ北海道デ言ヘバ小樽室蘭線ノ改良ト云フヤウナモノモヤツテ居リマス、又此ノ度此處ニ出シテ居リマスル所ノ留萌臨港ノ如キ、石炭増産ニ

必要デアルト云フ爲ニ買収モヤツテ居リマス、又他ノ鑛石ニ付テモ、先程申シマシタ如ク、邊富内線或ハ小本線ト云フヤウナ建設工事モヤツテ居ルノデアリマシテ、斯様ニ生産擴充ト睨合ハセテ、建設改良ノ工事ヲ致シテ居リマスガ、尙ホ是等ノ計畫ヲ立テマスル際ニ於キマシテモ、商工省、企畫院或ハ生産者側トモ能ク打合セマシテ、此ノ生産シ得ラレル所ノ狀態、或ハ生産ヲ必要トスル所ノ程度ト云フヤウナモノヲ十分意見ヲ交換シ、連絡ヲ取りマシテ、サウシテ全般ノ計畫ヲ立テテ居リマス、以上ヲ以テマシテ、大體建設計畫ニ對スル鐵道當局ノヤリ方ダト御存ジ置キ下サイマスレバ結構デアリマス

○東條委員 大體御答辯ヲ拜聴致シマシテ、適當ナ御方針デアルト認メマスガ、是ハ御話ノ通りニ鋼材ノ不足ノ爲ニ、建設セラレマスル路線ノ延長ガ、數年ノ間ハ前年ヨリモ本年ト、本年ヨリモ來年ト、段々短縮サレネバナラスヤウナコトニナルノデハナイカト思フノデアリマス、斯様ナ場合デアリマスルカラ、各方面ト御打合セノ上、物資ノ生産サレマスル狀況ヲ能ク調査シテ、之ニ應ズベキ計畫ヲ立テラレテ居ルト云フ今マデノヤリ方ヨリモ、モウ一步進ンデ、關係各省ガ積極的ニ協力ヲ致シテ、鐵道ノ能率ヲ擧ゲルコトヲ御考ヘニナルコトノ必要ガアリハシナイカト思フノデアリマス、例ヘバ石炭、鐵其ノ他ノ鑛產物、是等ハ最モ此ノ鐵道トノ關係ガ大切ナノデアリマス、斯ウ云フ點カラ見マスルト、例ヘバ假ニ數「キロ」ナリ、或ハ數十「キロ」ノ鐵道ヲ數キマス、今ノ狀態デハ其處ニアリマスル資源ノ的確ナル事業主體ガナク、又

開發セル狀態ニナツテ居ラス、例ヘバ石炭デ申シマスルナラバ、豐富ナ炭田ガアルケレドモ、ソレハ開發サレル狀態ニナツテ居ラス、隨テ此處ヘ鐵道ヲ敷イテモ今ノ所デハ、石炭ガ出ナイ、仕方ガナイカラ建設ノ計畫ガ立テラレヌ、斯ウ云フコトニナルノデアリマスルガ、之ニ若シ全體ノ協力ガ得ラレマスルナラバ、從來アリマスル所ノ法律ナリ、又今度改正サレヨウト致シマスル總動員法ノ發動ナリニ依リマシテ、其ノ開發ヲ國ガ命ズルコトガ出來ル、又必要ナル資材、必要ナル資本、必要ナル勞務ヲ此處ニ集中スルコトモ出來ルノデアリマス、隨テ是等ニ付テハ自然ニ開發サレマスル狀態ヲ待ツテ、之ニ應ズルヤウニ鐵道ヲ建設スルト云フ消極的ナヤリ方デナク、關係ノ各機關ガ連絡ヲ取ラレテ、彼處ノ炭田ヲ開發スルナラバ、最モ短イ輸送路デ以テ是ダケノ生産ガ得ラレルノデアアルカラ、此處ヘ一ツ開發ヲショウデヤナイカト云フ協議ヲシ、方針ヲ立テラレマシテ、一面ニハ商工省ハ是ノ開發ヲ命ズル、一面ニハ鐵道省ハ鐵道ノ建設ノ計畫ヲ立テル、又是モ輸送ノ關係等カラ逕信内務兩當局ノ協力ヲ求メテ、港灣積出シノ設備トカ、或ハソレノ運送ノ關係等ニ付テモ御研究ヲ願ヒ、サウシテ各機關ガ重點主義ニ協力シテ、積極的ニ開發スルト云フ行キ方ガ必要デハナイカト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テ鐵道當局及ビ商工當局ノ御意見ヲ承リタイ

○鈴木(逋)政府委員 只今東條サンノ申サレタ御意見ハ御尤モナ御意見ダト存ジマス、先程私ガ御説明申シマシタコトガ、或ハ少シ言葉足ラザルガ爲ニ、鐵道省ハ唯開發ヲ待ツテ居ツテ、徒ラニ消極的ニ開發シテ來

ル時ニ初メテ建設スル態度ヲ執ル、斯ウ云フ風ニ御考ヘナサイマシタカモ知レマセヌガ、多クノ場合ニ於テハ現實ニ鐵道省トシテハ其ノ開發サレ、ソレガ輸送セラレル前デモ、サウ云フヤウナ狀態ノ見極メヲスル必要ガアルノデアリマスガ、或ハ商工省、或ハ企畫院ニ於テ、或ル地方ノ炭田ヲ至急ニ開發シナケレバナラズ、而シテ其ノ開發計畫ガ立テラレテ、ソレニ對スル輸送設備トシテ鐵道建設ガ必要デアルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、鐵道省ニ於テモ其ノ事情其ノ他ヲ能ク當該當局ト相談致シマシテ、建設致シマスルニ各デナイノデアリマス、唯此處デ申上ゲテ置キタイノハ、此ノ建設計畫ヲ立テル資材ニ於キマシテモ、鐵道省ガ單獨デ資材ガ割當テラレルモノデアリマセヌデ、鐵道當局各當局ガ企畫院ニ集マリマシテ、各、其ノ生産力擴充上必要トスル資材ニ付テ色々ノ討議ガ行ハレテ居ルノデアリマス、唯御存ジノ如ク鋼材ニ付テ申シマス、鋼材ニ於キマスル割當ノ中、鐵道省ト云フモノガ大部分ヲ取ツテ居ルノデアリマス、其ノ大部分ヲ取ツテ居リマスル所ノ鐵道省其ノモノガ、自分ノ所ノ需要ニ對シテ必要トスルモノニ對シテ可ナリノ少サニ於テアルノデアリマス、十六年度ニ於テ其ノ少サヲ以テ最も有效ニ——國際情勢其ノ他カラ見テ已ムヲ得ナイト考ヘマスガ、鐵道省トシテハ此ノ少イ資材ヲ最も有效ニ、最も生産力擴充ニ資スルヤウニ使用スルコトヲ考ヘテ、此ノ豫算ノ編成竝ニ計畫ヲ立テテ居ルノデアリマス、左様御承知置キヲ願ヒマス

○鈴木(英)政府委員 生産擴充ト鐵道建設ノ點ニ付キマシテ、只今鐵道次官カラ御説明ガアリマシテ、大體政府ト致シマシテ申

上ゲルコトハ盡キテ居ルト考ヘルノデアリマス、鐵道省ト云フ方面カラ一寸御答ヘ致シマス、御承知ノヤウニ鐵道省ト云フモノハ非常ニ交通運輸ト云フコトニ關係ノ深いモノデアリマシテ、此處ニ斯ウ云フ交通ガアツタナラバモウ少シ開發サレタデアラウ、開發サレルコトノ希望ヲ持ツタ山ガ澤山アルノデアリマス、從來トモ各地方ノ鐵道監督局ニ於キマシテモ、地方ノ鐵道局或ハ本省等ト色々打合セラヤツテ居ルノデアリマス、近頃資材ノ缺乏ノ爲ニ思フヤウナ運ビニモナラナイノデアリマシテ、甚ダ遺憾トシテ居ルノデアリマス、吾々モ鐵道ノ開發、特ニ運輸交通ノ開發ト云フコトニ對シマシテハ非常ナ關心ヲ持ツテ居リマスノデ、今後トモ鐵道當局ニモ御願ヒ致シマシテ、鐵道開發ト云フコトニ大イニ努メタイト考ヘテ居リマス

○星島委員長 東條君、今分科ノ方デ鐵道局長ニ是非來テ貰ヒタイト云フコトデゴザイマスガ……

○東條委員 ソレデハ私ノ質問ハ此ノ程度デ止メテ置イテ、此ノ次ニ續行スルコトニシマセウ

○星島委員長 ソレデハ小笠原君シテ、其ノ併行線デアル所ノ田名部運輸軌道株式會社ノ損失補償ノ案ガ出テ居ルノデアリマス、是ハ僅カニ四「キロ」ト云フコトデアリマシテ、此ノ損失補償ノ計算ガ素人ニハ中々分ラナイヤウナ數字ガ出テ居ルノデアリマス、一體此ノ金額ハどれ程ニナルカト云フコトヲ先ヅ伺ヒタイ、ソレカラ之ヲオヤリニナル時期ヲ伺ヒタイ、ト同時ニ此ノ軌道ト同ジ路線ニ、自動車ノ路線ヲ持

ツテ居ル會社、或ハ個人經營ノ營業者モアルヤウニ思ヒマスガ、是等ノモノハ此ノ大間線ノ開設ニ依ツテ損失ヲ蒙ルコトナク、唯此ノ軌道ダケガ損失ヲ蒙ルト云フコトニ御見込ニナルノデアリマス、或ハ又此ノ自動車ノ方面モ、ソレト同時ニ損失ノ補償ヲ御考ヘニナツテ居ラレルノデアリマス、更ニ進ンデ大間線ガ開設ニナリマス、此ノ大間マデノ間ノ自動車路線モアリマス、是等ヲ貫通シテ損失ト云フコトニ將來ノ御見込ヲ立テテ、何等會社トカ個人營業者ノ方ニ折衝ガナイノデアルカ、又損失補償ヲスルト云フコトニナルト、今軌道ニ依ツテ計算シタヤウナ方法ニ依ツテ損失ノ補償ヲサレルノデアルカ、其ノ點ヲ一ツ出來ルダケ詳細ニ御説明願ヒタイ

○大山(秀)政府委員 補償額ノコトデアリマスガ、是ハ結局買收價額ヲ算定致シマシテ、其ノモノヲコナラニ取ラヌノデアリマス、殘カモノノ代價ヲ引クト云フコトニナルノデアリマス、是ハ愈々會社ガモノヲ始末シテ時デナイト、能ク金額ノ分ラヌモノモアリ得ル譯デス、確カナコトヲ申上ゲル譯ニハ行キマセヌガ、凡ソ六万五千圓ニナルノデハナイカト思ツテ居リマス

○小笠原(八)委員 買收價額デスカ、補償價額デスカ

○大山(秀)政府委員 補償價額デスカ、ソレカラ時期デアリマスガ、是ハ御協賛ヲ得マシタナラバ、ドン／＼事務ノ許ス限リ早くヤリタイト思ヒマス、ソレカラ軌道ノ補償ダケ考ヘテ自動車ノコトヲドウ考ヘテ居ルカト云フ御質問デアリマスガ、軌道ノアリマスル道路ニハ、田名部町營ノ「バス」ト外一線アルヤウデアリマスガ、省線開通ニ依リ

マスル自動車ニ對スル補償ト云フモノハ規定ガナイノデアリマス、隨テ「バス」ノ方面ニ對スル補償ノコトハ交渉モ致シテ居リマセズ、今考ヘテ居ラス譯デアリマス、唯「バス」ノ話ガアリマシタカラ一言附加ヘテ置キタイノハ、「バス」ハ成程一時ハ御客ガナカツタカニ見エマシタガ、此ノ田名部軌道ガ休止致シマシテ以來、ヤハリ地方ノ交通ガ「バス」ノ方ニ行キマシテ、相當成績ヲ盛返シテ居ル、餘リ影響ガナイヤウニ實際ニ於テ見ラレルノデアリマス

○小笠原(八)委員 「バス」ノ關係ノ損失補償ノ規定ガナイヤウナコトヲ申サレマシガ、私ノ知ツテ居ル範圍内ニ於テハ「バス」デアツテモ鐵道ノ開設トカ、又ハ省營「バス」ナドニ依ル影響ノアル所ハ、損失補償ノ規定ガアルヤウニ承ツテ居ツタノデアリマス、併シ是ガナイモノト致シマシテモ、相當ノ損害ガアツテ營業不能ニ陥ルヤウナ場合ニハ、今ハナクテモ將來ニ於テ相當ニ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、獨リ「バス」バカリデナク荷馬車等ニ依ル荷物ノ運搬業者等ガ、鐵道ノ開設ニ依ツテ失業シタト云フヤウナ場合モ、是モ個人的ニ救済ノ方法ヲ要求スル途ガナイノデ泣キ寝入リシテ居ル者モ多數アルノデアリマス、サウ云フモノモ相當ニ考フベキダト思フ、特ニ下北關係ノ問題デ、只今「バス」ノ方ハ盛返シテ來タト言ハレタノデアリマスガ、ソレハ盛返シテ譯アリマセウ、ナゼナラバアノ連絡位惡イ所ハアリハシナイ、二時間モ下北驛ニスツボリ投ゲ出サレテ居ルヤウナ「ダイヤ」ヲ作ツテ居ラレルヤウデハ敵ハナイ、サウ云フ狀態デアラカラ此ノ驛ヲ利用スルヨリ外方法ガナイ、殊ニ私ノ伺ヒタイノハ大間線ト云

フモノト大湊線ト云フモノハ、永久的ニ分
離シタ路線デアツテ、大間ニ野邊地カラ直
通スル線トハナラヌノデアリマセウカ、此
ノ點ガ非常ニ連絡ガ惡イノデ、ドウシテモ
今ノ本田名邊デスカ、此ノ驛ヲ利用シテ行
クコトニナルノデアリマスカラ、自然「バ
ス」ノ方モ盛返スト云フコトニナル、併シ
ナガラ、是ガ大間線ノ開通ノ曉ニハ、ヤハ
リ大間ニ通ジテ居ル「バス」路線ト云フモノ
ハ、全然營業不能ニ陥ルコトハ火ヲ賭ルヨ
リモ明カデアリマス、隨テ此ノ方ハヤハリ
賠償ヲスル、或ハ救済ヲスル何等ノ途ガナ
イト云フコトニナルノデアリマセウカ、此
ノ點ヲ一ツ附加ヘテ伺ヒタイト思ヒマス

○大山(秀)政府委員 「バス」ノ問題ニ付テ
更ニ御尋ネガアツタノデアリマスガ「バス」
ノアリマスル所ニ省營「バス」ガ同ジ路線ニ
入りマシテ、今マデ營業シテ居ツタ「バス」
ガ廢業致シタ場合ニ於ケル補償ノ制度ハ、
「バス」同士ノ間ニハアルノデアリマス、併
シ鐵道ト「バス」トノ間ニ於ケル補償ノ規定
ハナイノデアリマス、大體鐵道ノ使命ト
「バス」路線ノ使命ト云フモノガ異ツタ所モ
アルノデハナイカ、斯ウ云フ考ヘ方ヲ持ツ
テ居リマシテ、違ツタ種類ノ交通機關ニ對
スル補償ヲ考ヘテ居ナイノデアリマス、隨
テ最後ニ御尋ネニナリマシタ大畑マデ開通
シタ場合ニ、今ノ「バス」路線ヲドウシテ異
レルカト云フコトデアリマスガ、只今ノ所、
補償ノ方法ハナイト申上ゲルヨリ外ナイノ
デアリマス

輸ヲ業トシテ居ル所ノ會社ナリ個人ナリ
ハ、相當資本ヲ投ジテドウヤラヤツテ來タ
モノガ、ソレガ不能ニ陥ルノニ救済ノ方法ガ
ナイト云フノハ、如何ニ使命ハ違フト雖モ、
國家ノ政治トシテソコニ缺陷ガアルノデハ
ナイカト思ヒマスノデ、是ハ相當考慮シナ
ケレバナラヌト思ハレル點ガアルノデアリ
マスガ、先ヅ其ノ點ガサウ云フコトデアリ
マスルナラバ、篤ト御考ヘ置キヲ願フコト
ニシテ其ノ邊ニ止メマス

更ニ大畑線カラ大間ニ向ツテ餘程工事
モ進捗シテ居ルヤウデアリマスガ、惜テ
此ノ地方ハ理藏資源ノ豐富ニアルコトハ
能ク御承知ノ通り、又軍事上ニ於キマシ
テモ相當重要性ヲ帶ビテ居ルコトハ、鐵
道當局モ御承知ノ通りデアリマス、殊ニ
此ノ地方ノ住民ハ從來ハ北海道ノ函館ノ
方ガ近距離ニアル爲ニ、生活必需品ハ總
テ函館ニ仰イデ居ルト云フ實情ニアツタノ
デアリマスガ、此ノ時局ノ經濟統制ノ激
變ノ爲ニ、配給ハ各道府縣ニ依ツテノ配
給シカ出來ナクナツタノデ、已ムヲ得ズ
比較的遠距離デアル青森ノ方カラ、海路
ヲ利用スルヤウナ狀況デアアルノデアリマス、
然ルニ其ノ方モ冬期間ハ航路等モ杜絶スル
コトガ度々アルノデアリマシテ、ドウシテ
モ陸路ノ運輸ヲ俟タナケレバ、生活權ノ確
保モ中々容易ナラザル狀況ニアルヤウデア
リマス、昨日松浦君ノ御質問ニ依ツテ、北
海道アタリハ敷設シタ鐵道モ、貨車ノ配車
ノ關係等ガ圓滑ニナラナイ關係デ、マダ開
設シナイト云フヤウナ狀況モ承リマシタガ、
此ノ方ハ十六年度ニハ一體ドノ邊マデ開通
ナサルノデアアルカ、將來又大間マデ完成ス
ル御見込ハ何年度ニナツテ居ルノデアアルカ、

此ノ點一ツ伺ツテ置キタイノデアリマス、
同時ニ津輕線ト云ヒマスガ、此ノ方モ餘程
工事ガ進捗シテ居ルヤウニ承ツテ居ルノデ
アリマスガ、是モヤハリ下北線ト同様ナ重
要ナ軍事上ノ關係等モアリマスノデ、是等
ハ十六年度デドノ邊マデ開通ノ御見込デア
ルカ、又完成ハ何年度ノ御見込デアアルカ、
是モ併セテ御答辯願ヒタイト思ヒス

○倉田政府委員 只今御話ノアリマシタ田
名部大間間鐵道、大畑線デアリマスガ、是ハ
來年度モ引續イテ工事ヲ續行スル積リデア
リマス、開業ニ付キマシテハ土工事ガ進行
中デアリマスノデ、明年度開業豫定ハアリ
マセス、而シテ全部竣工シテ全通シマス豫
定年度ハ十九年度デアリマス

次ニ御尋ネノアリマシタ津輕線青森五所
川原間鐵道、是ハ現在三厩ト申シマス津輕半
島ノ尖端ノ方ニアリマス、ソコマデ全線ニ
互ツテ工事中デアリマス、尙ホ手前ノ方ノ
青森カラ蟹田間ガ大體軌道ガ敷ケテ居ルノ
デアリマスガ、青森驛ノ設備等關聯シタ工
事ガマダ完成シテ居リマセヌ爲ニ、大體開
業ハ豫定ヨリ延ビテ、明年度ハ青森ノ連絡
施設ノ仕事ニ力ヲ盡スト云フ形ニナリマ
ス、開業ハ今ノ所決メテ居リマセヌガ、出
來レバ早クヤリタイト思ツテ居ル譯デアリ
マス、竣功年度ハ全線開通ガ二十一年度デ
アリマス、

用車トシテ使用シテ今日マデ來タヤウデア
リマス、先年來規則ノ改正ニ依ツテ、一路
線ニ一業者五臺以上ヲ所有シナケレバ許可
セヌト云フコトニナツテ、何カソレハ延期
策ヲ講ジテ今日マデ繼續シテ居ルヤウナ狀
況デアアルノデアリマス、然ルニ今日ノヤウ
ニ交通頻繁ニナツテ、業者ノ方デ増車ガ必
要ニナツテ其ノ配車方ヲ御願ヒシテモ、此
ノ時局デ容易ニ其ノ要求ニ應ジテ呉レナイ、
隨テ中々増車ノ方ハ容易ナラザル狀況ニナ
ツテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ一方ニハ
規則ニ依ツテ増車ヲ條件附ケラレテ居ルノ
デ、多分ニ業者ハ不安ヲ感ジテ居ルヤウナ
狀況デアリマスルガ、其ノ點ハ鐵道省トシ
テハ如何ナル方法ヲ執ラレテ居ルカ、伺ヒ
タイノデアリマス

○大山(秀)政府委員 御尋ネノ點ガ實ハマ
ダハツキリシナカツタノデアリマスガ、「バ
ス」ノ車輛ニ付テ、増車ガ中々困難ト云フ御話
デアアルカ、或ハ數業者アル時ニ、五輛ナラ
五輛ト云フ基準ニ依ツテ一緒ニナラウト云
フヤウナ御話デアアルカ……
○小笠原(八)委員 モウ一度申上ゲマス、
今申上ゲタノハ斯ウ云フ譯デス、一路線ニ
對シテ五車以上ヲ所有シナケレバイカスト
云フコトニ規則ガ改正ニナツタト云フコト
ヲ承ツテ居ル、ソレハヤハリ距離ニモ依ル
コトト思ヒマスケレドモ、兎ニ角多クノ業
者ガ規定ヨリ輛數ヲ不足サシテ居ル譯デア
リマシテ、其ノ規定ニ當嵌マルダケノ車ヲ
求ムルコトハ今出來ナイ、出來ナイカラシ
テ延期願ヒヲ出セト云フノデ、出シテ毎年
延期々々ヲ繰返シテ居ル譯デアアル、ソレハ
車ノ方ノ要求ニ配車ガナシ、一方規則ニ縛
ラレテ延期ノ彌縫策ヲ講ジテ居ル、ソレガ

業者トシテハ非常ニ不安デアリマスカラ、
是ハ此ノ時局ガ回復スルマデハ、其ノ路線
ノ確保ヲ御認メニナツテ、延期デ繼續サセ
ル積リデアアルカト云フコトヲ伺ヒタイノデ
ス

○大山(秀)政府委員 一面ニ於テ「バス」路
線ニ付テハ基準ノ輛數ト云フモノガアリマ
シテ、路線ノ長サ、其ノ土地々々ニ依リマシ
テ何輛位持ツテ貰ハネバナラスト云フ標準
ガアル譯デアリマス、又其ノ反面今御話ノ通
リニ、今補充シヨウト言ツテモ出來ヌデハ
ナイカト云フ情勢モアル譯デアリマス、ソ
コデ他面數人ノ方デ同一路線ニアラレルヤ
ウナ場合ニハ、成ベク一ツニナツテ貰ツテ、
サウシテ其ノ地方ノ交通ニ合フヤウナ基準
ノ輛數ヲ揃ヘテ貰ヒタイト云フコトガ希望
デアリ、各地デ其ノ趣旨ニ從ヒマシテ合同
ナドモヤツテ下サツテ居ルノデアリマス、
併シサウ云フ事情ニ至ラヌモノニ付キマシ
テハ、事變中車輛關係其ノ他ヲ考慮シテ延
バシテ行クカト云フ御質問デアリマスガ、
是ハ出來ルナラバ一緒ニナツテ戴イテ、或
ハ他ノ方法ニ依リマシテ車ヲ充シテ、地方
交通ニ相應スルモノニ變ヘテ戴キタイガ、
併シ事情ドウシテモサウ云フ方法ガナイト
云フナラバ、此ノ狀態ヲ續ケテ行カザルヲ
得ナイノデハナイカ、サウ云フ風ニ考ヘテ
居リマス

○小笠原(八)委員 同一路線ノ統合ノコト
ニ付キマシテ、只今モ何線カラ統合セシメ
テ、規定ノ範圍内ニ車ヲ纏メテ行ク方針ダ
ト云フ御話ガアツタノデアリマスガ、一體
私等ノ今マデ聞キマスル所ニ依リマス、
會社ト個人トノ所有路線ニ對シテハ、會社
ノ方ニ買收セシメルヤウナ方針ヲ鐵道ハ持
ツテ居ル、又私設鐵道ノ所有路線ニ對シテ
ハ、其ノ私設鐵道會社ノ方ニ買收セシメル
ヤウナ方針デ進ンデ居ルト云フコトヲ承ツ
テ居ルノデアリマス、ソレハアナタ方ノ御
方針デアリ、且又近イ内ニハサウ云フコト
ヲ強制的ニデモオヤリニナルト云フ御考ヘ
デアリマスカ

○大山(秀)政府委員 御承知ノヤウニ「ガ
ソリン」ガ相當規正強化サレテ居ルノデア
リマシテ、此ノ時期ニ於キマシテ、一面ニ
於テハ交通ノ激増ヲ來シテ、何トカシテ其ノ
困難ナ物資ノ時代ニ於ハ、交通需要ヲ充シ
テ行キタイト云フ考ヘガアルノデアリマシ
テ、サウ云フ點カラ同一路線ニ業者ガ競争
シテ居ルヤウナ場合ニハ、一緒ニナツテ戴
クト云フコトハ方針トシテ持ツテ居ル所デ
アリマス、併シソレガ競争ノ場合ニ、會社
ト個人トアル場合ニハ、會社デヤツテ個人
ノモノヲ吸收スルノダト云フヤウナコト
ハ、別ニ決マツテ居ナイコトデアリマシ
テ、要スルニ其ノ土地ニ於テドウ云フ風ニ
シテ一緒ニナツタノガ一番宜イカ、誰ガソ
レデハ主體ナルカト云フコトハ、個々ノ具
體的情勢ニ依ツテ決マルベキモノデアツテ、
會社組織デアリ、個人デアアルト云フ點ニ
於テ決マルベキモノデハナイト考ヘテ居リ
マス、ソレカラ地方鐵道ト「バス」路線トアリ
マスル場合ニハ、今ノ時勢ニ於キマシテハ
オ互ヒニ相補ツテ、輸送ノ完璧ヲ期スト云
フノガ理想デアリマスガ、更ニ進ンデ參リ
マシテハ、鐵道ノ方デ運ベルモノハ成ベク
鐵道デ運ンデ戴キタイト云フヤウナ氣持ヲ
持ツテ居リマス、隨テ地方鐵道ト並行シテ
居ル場合ニ於キマシテハ、多ク資本、事業
其ノ他ノ關係カラ見テモ鐵道會社ノ方ニ統

合サレル場合ガ多イカト思フノデアリマス
ガ、併シ是トテモ地方鐵道デアアルカラ必ズ
ソレニ入レルト云フヤウナ固イ極リガアル
譯デハナイノデアリマシテ、其ノ土地々々
ニ應ジテ、ドウ云フ方法ヲ執ツタラ一番
旨ク「ガソリン」ヲ使ハズシテ、輸送力ヲ確
保シ得ルカト云フ方法ヲ、個々ノ事情ニ應
ジテ適當ニ考慮スルノガ方針ナノデアリマ
ス

自分ノ營業ニ連絡ヲ取ル爲ニ經營ナンカラ
シテ居ルト云フ者モアルノデアリマス、サ
ウ云フコトモ考慮セズ、唯資本トカ、或ハ
會社トカ、私設鐵道トカ云フ風ニ一方ノミ
ヲ考慮シテ、其ノ方ニ吸收セシメルト云フ
コトデ、有力ナ方面カラアア云フ運動ヲナ
サルト云フコトハ、唯徒ラニ此ノ場合業者
ニ刺戟ヲ與ヘ、惡影響ハ及ボサヌケレドモ、
迷ヒヲ生ゼシメテ非常ニ紛糾セシメテ居ル
ヤウナコトヲ私見受ケタノデアリマス、只
今ノ御方針ナラバ結構ナコトト思フノデア
リマスガ、アア云フコトハ全國統一スベキ
モノデ、各局ニ依ツテ勝手ナ策動スルヤ
ウナコトハ、相當ニ御留意シテ戴カナケレ
バナラスト思フノデアリマス、私ノ質問ハ
今日ハ是ダケニシテ置キマス

○小笠原(八)委員 御承知ノヤウニ「ガ
ソリン」ガ相當規正強化サレテ居ルノデア
リマシテ、此ノ時期ニ於キマシテ、一面ニ
於テハ交通ノ激増ヲ來シテ、何トカシテ其ノ
困難ナ物資ノ時代ニ於ハ、交通需要ヲ充シ
テ行キタイト云フ考ヘガアルノデアリマシ
テ、サウ云フ點カラ同一路線ニ業者ガ競争
シテ居ルヤウナ場合ニハ、一緒ニナツテ戴
クト云フコトハ方針トシテ持ツテ居ル所デ
アリマス、併シソレガ競争ノ場合ニ、會社
ト個人トアル場合ニハ、會社デヤツテ個人
ノモノヲ吸收スルノダト云フヤウナコト
ハ、別ニ決マツテ居ナイコトデアリマシ
テ、要スルニ其ノ土地ニ於テドウ云フ風ニ
シテ一緒ニナツタノガ一番宜イカ、誰ガソ
レデハ主體ナルカト云フコトハ、個々ノ具
體的情勢ニ依ツテ決マルベキモノデアツテ、
會社組織デアリ、個人デアアルト云フ點ニ
於テ決マルベキモノデハナイト考ヘテ居リ
マス、ソレカラ地方鐵道ト「バス」路線トアリ
マスル場合ニハ、今ノ時勢ニ於キマシテハ
オ互ヒニ相補ツテ、輸送ノ完璧ヲ期スト云
フノガ理想デアリマスガ、更ニ進ンデ參リ
マシテハ、鐵道ノ方デ運ベルモノハ成ベク
鐵道デ運ンデ戴キタイト云フヤウナ氣持ヲ
持ツテ居リマス、隨テ地方鐵道ト並行シテ
居ル場合ニ於キマシテハ、多ク資本、事業
其ノ他ノ關係カラ見テモ鐵道會社ノ方ニ統

合サレル場合ガ多イカト思フノデアリマス
ガ、併シ是トテモ地方鐵道デアアルカラ必ズ
ソレニ入レルト云フヤウナ固イ極リガアル
譯デハナイノデアリマシテ、其ノ土地々々
ニ應ジテ、ドウ云フ方法ヲ執ツタラ一番
旨ク「ガソリン」ヲ使ハズシテ、輸送力ヲ確
保シ得ルカト云フ方法ヲ、個々ノ事情ニ應
ジテ適當ニ考慮スルノガ方針ナノデアリマ
ス

自分ノ營業ニ連絡ヲ取ル爲ニ經營ナンカラ
シテ居ルト云フ者モアルノデアリマス、サ
ウ云フコトモ考慮セズ、唯資本トカ、或ハ
會社トカ、私設鐵道トカ云フ風ニ一方ノミ
ヲ考慮シテ、其ノ方ニ吸收セシメルト云フ
コトデ、有力ナ方面カラアア云フ運動ヲナ
サルト云フコトハ、唯徒ラニ此ノ場合業者
ニ刺戟ヲ與ヘ、惡影響ハ及ボサヌケレドモ、
迷ヒヲ生ゼシメテ非常ニ紛糾セシメテ居ル
ヤウナコトヲ私見受ケタノデアリマス、只
今ノ御方針ナラバ結構ナコトト思フノデア
リマスガ、アア云フコトハ全國統一スベキ
モノデ、各局ニ依ツテ勝手ナ策動スルヤ
ウナコトハ、相當ニ御留意シテ戴カナケレ
バナラスト思フノデアリマス、私ノ質問ハ
今日ハ是ダケニシテ置キマス

○東條委員 昨日モオイデヲ願ヒタイト思
ヒマシタガ、政府委員ガ御集マリニナラヌ
ノデ差控ヘタノデアリマス、本日モ急イデ
上ゲネバナラス分科會ヘ行クト云フコトデ
アリマスノデ、私ハ途中デ打切りマシテ差
控ヘタノデアリマス、一ツ此ノ次ノ委員會
ノ開會ニ際シマシテハ、委員長カラ適當ニ
御交渉下サイマシテ、是非御揃ヒガ願ヘルヤ
ウニ御配慮願ヒタイ、殊ニ今鑛產局長ノ御
答辯ヲ一寸伺ツタノデアリマスガ、鐵道當
局トシテノ新線建設ニ關スル生産擴充關係
ニ付テ十分ナ注意ヲ拂ヒ、御研究ニナツテ
居リマスル御趣旨、御方針ハ大體了承致シ
マシタ、鑛產局長ノ御答辯ヲ伺ヒマス、
鑛產物ノ運輸機關ト非常ニ關係ガアルノデ、
鐵道ガ出來レバ大變便利ナダガト云フヤ
ウナ調子デアリマスガ、ソナ生緩イコト
デハ此ノ時局ノ急ニハ應ジラヌト思フ、
十分一ツ御考ヘヲ伺ツテ見タイト思フノデ

合サレル場合ガ多イカト思フノデアリマス
ガ、併シ是トテモ地方鐵道デアアルカラ必ズ
ソレニ入レルト云フヤウナ固イ極リガアル
譯デハナイノデアリマシテ、其ノ土地々々
ニ應ジテ、ドウ云フ方法ヲ執ツタラ一番
旨ク「ガソリン」ヲ使ハズシテ、輸送力ヲ確
保シ得ルカト云フ方法ヲ、個々ノ事情ニ應
ジテ適當ニ考慮スルノガ方針ナノデアリマ
ス

自分ノ營業ニ連絡ヲ取ル爲ニ經營ナンカラ
シテ居ルト云フ者モアルノデアリマス、サ
ウ云フコトモ考慮セズ、唯資本トカ、或ハ
會社トカ、私設鐵道トカ云フ風ニ一方ノミ
ヲ考慮シテ、其ノ方ニ吸收セシメルト云フ
コトデ、有力ナ方面カラアア云フ運動ヲナ
サルト云フコトハ、唯徒ラニ此ノ場合業者
ニ刺戟ヲ與ヘ、惡影響ハ及ボサヌケレドモ、
迷ヒヲ生ゼシメテ非常ニ紛糾セシメテ居ル
ヤウナコトヲ私見受ケタノデアリマス、只
今ノ御方針ナラバ結構ナコトト思フノデア
リマスガ、アア云フコトハ全國統一スベキ
モノデ、各局ニ依ツテ勝手ナ策動スルヤ
ウナコトハ、相當ニ御留意シテ戴カナケレ
バナラスト思フノデアリマス、私ノ質問ハ
今日ハ是ダケニシテ置キマス

アリマシテ、是非一ツ御摘ヒニナツテ御出
席願ヘマスルヤウニ、委員長ノ御配慮ヲ願
ヒタイ

○星島委員長 諒承シマシタ、ソレデハ先
程理事諸君ニモ御相談シタノデスガ、大體此
ノ案件ニ直接シタ質問ハ終了シタヤウニ思
フノデアリマス、ソレデハ……

○工藤(鐵)委員 大體マダ私ガ一本デ質問
スル時機ガ来ナイノデスガ、丁度小笠原君カ
ラ申上ゲタノデ、此ノ分ニ付テハ總テヲ諒
トシマスケレドモ、唯私ハ特ニ大臣モ見エ
タカラ皆様ニ御願ヒ申上ゲタイノハ、下北
半島竝ニ津輕半島ノ鐵道ト云フモノハ、相
當長イ間ノ懸案デスガ、特ニ軍事上ニ於テ
近年非常ニ骨ヲ折ツテ呉レタ、前内田鐵道
大臣ナドハ態、アノ土地ニ行ツテ、軍ノ方ト
モ非常ニ能ク交渉シテ呉レマシテ、軍ノ方
デハ其ノ必要ヲ認メテ、彼處ニ殆ド全國ニ
ナイ異例デアリマセウ、同時ニ二箇所、ア
ノ鉄形ノ半島ニ兩方トモ一緒ニヤツテ呉レ
タ、是ハ地方民ノ希望カラ行クト、長イ間
ノ問題デスカラ當然ダト思ヒマスケレドモ、
サウ云フ近年逼迫シテ居ル軍事上ノ理由ト
云フモノガ、相當原動力ニナツタト私共ハ
聞イテ居ル、然ルニ今ノ小笠原君ノ質問ニ
依ツテ、計畫ノ進行ノ大體ガ分リマシタガ、
何シロ「レール」ハ途中マデデスケレドモ、
青森五所川原線ノ中ノ蟹田マデ敷イテアル、
地方ノ者ハ眼前ニ通ツテ居ル「レール」ヲ始
終見テ居ル、ソレガ一向動イテ来ナイモノ
デスカラ、頗ル鐵道省ニ對シテ不満ト云フ
ト少シ言ヒ過ギデアリマスケレドモ、何ノ
爲メダラウ、資材ノナイト云フコトハ我慢
シテモ宜イガ、スツカリ出来上ツテ居ツテヤ
ラヌト云フノハ甚ダ困ルヂヤナイカト云ツ

テ、私共ノ所ニモチヨイ／＼手紙モ来マス
シ、陳情ニワザ／＼出掛ケテ来ル者モアリ
マスガ、其ノ都度關係ノ方ニモ申上ゲテ居
ルヤウナ譯デアリマスケレドモ、是ハ停車
場ノ連絡ノ關係モ必要デアリマセウガ、出
來ルダケ急イデ戴キタイ、今日ハモウ一哩
ノ鐵道ノ多イト云フコトデモ希望シテ居ル
際デスカラ、隨分色々ナコトモアリマセウ
ケレドモ、特ニ一ツ御考慮ヲ願ツテ、十六
年度ニ於テハ必ズ全通スルヤウニ、是ガ蟹
田マデ行キマス餘程助カル、ナゼ助カル
カト云フト、蟹田マデ参リマス、北津輕
郡ノ將來買収ニナルデアリマセウガ、津輕
鐵道トノ連絡ガ着キマス、隨テ彼處ニド
ンドン物ガ出テ来ルト云フコトニナリマス
カラ、鐵道收入ノ上カラ言ツテモ相當合フ
ダラウト思ヒマス、是ハ特ニ一ツ御願ヒ申
上ゲタイソレカラ小笠原君ガ今申上ゲタ下
北ノ鐵道モヤハリ同様デス、其ノ向ヒ側ノ
北海道ノ側ニ屬スル鐵道、是モ軍事上ノ必
要デ、彼處ニ軍事上ノ施設ガアルモノデス
カラ、何レモ皆サウ云フ風ニ軍事上ノ關係
シタ所ナンデスカラ、ドウカ此ノ下北ノ方
モ特ニ御願ヒシタイ、無論企畫院ノ物資ノ
關係モアルコトハ萬々承知シテ居リマスケ
レドモ、何トシテモ生産擴充ヲシロシロト
言ツタツテ、交通機關ガ出来ナケレバ如何
トモ仕様ガナイ、ドウ動カスカト云フコト
ガ問題ダラウト思フガ、ドウ動カスカト云
フコトニ付テハ、其ノ動カス基礎トシテノ
鐵道ガ是非必要ダト思ヒマス、斯ウ云フ點
ニ關シマシテハ大臣、次官以下ノ方々モ御
骨折デアリマセウケレドモ、軍事上ノ補助
的ナ施設ニナツテ居ルノデアリマスカラ、
特ニ資材ニ付テハ、優先トハ申シマセスケ

レドモ、早く取ツテ、サウシテ早く完成ス
ルヤウニ御願ヒシタイノデス

ソレデ一般東北民ノ實際ニ於ケル氣持ト
云フモノハ、萬一政府デ仄メカシタヤウニ
「アメリカ」トノ關係ガ相當惡化シテ、一戰
デモ交ヘナケレバナラスコトニナルト、ヤ
ハリ「アメリカ」ハ北カラ「アラスカ」沖ヲ通
ツテ「アリューシャン」群島カラ樺太、北海道、
津輕海峡ニ掛ケテハ一番近イ、日本ニ來ル
三本ノ「コース」ノ中、三分ノ一シカナイ、
サウスルトヤハリ東北民ノ懸念ハココニア
ル、デアルカラ軍事上ノ施設竝ニソレヲ助
成スル交通其ノ他ノコトニ付テハ、特ニ御
關心ヲ持ツテ宜イダラウト考ヘテ居リマス、
ドウカ此ノ二線ニ付テハ今小笠原君ガ折角
申上ゲテ呉レマシタカラ餘分デアリマスケ
レドモ、私モ一言申上ゲマシテ、一ツ出来
得ルダケ早く開業スルヤウニ御運ビヲ願ヒ
タイ、ソレダケ申シマシテ後ノハ保留シテ
置キマス

○星島委員長 ソレデハ本日ハ此ノ程度ニ
於テ散會シマシテ、次會ハ月曜日ノ午前十
時カラ開會致シマス
午後零時二分散會

昭和十六年一月三十一日印刷

昭和十六年二月一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局